

# 道の駅への期待

道の駅に「直流給電システム」導入を目指している興和です。というより風邪薬のコルゲンコーワや胃腸薬キャベジン、筋肉痛用バンテリンなど医薬品部門が有名で、「直流給電システム」はごく最近の新事業。道の駅の防災拠点機能が注目されていますが、このシステムは道の駅のニーズにぴったりでです。

人が集まれば公的施設としての役割も求められますが、平常時だけでなく、災害などが発生した非常時もそうではないでしょうか。広い土地を持ち被災者を受け入れる建物もあつて、救援隊の前線基地になれる。「道の駅」は地域最強の避難所だと思えます。

今春、青森県七戸町の道の駅「しちのへ」に、東京整流器(株)製造の直流給電システムが導入されました。太陽光パネルで発電される直流電力を交流電力に変換することなく、直流のままLED照明に給電する装置です。LEDは直流電力で点灯し



## 平常時だけでなく非常時も活躍

興和株式会社



使うことが出来ます。LEDは1台ずつ調光するので、人のいる場所だけを照らすことも可能。溜めたものを長持ちさせることが出来るのです。

### 新技術の導

入です。併設の蓄電池も直流なので、直流のまま連携すれば交流に変換する無駄を省けます。

太陽光パネルで発電し、それを使いながら同時に溜めていきます。平常時は省エネ機器として、いざという時は系統連系が断たれ停電しても、溜めた電気を独立電源として

入で防災拠点機能を強めたこともあり、新しい技術の導入によって、「道の駅」はさらに防災機能をパワーアップ出来るのではないのでしょうか。平常時と非常時両方の地元コミュニティの場として、今後も活躍していただけることを望んでいます。

溜めた電気を独立電源として

入で防災拠点機能を強めたこともあり、新しい技術の導入によって、「道の駅」はさらに防災機能をパワーアップ出来るのではないのでしょうか。平常時と非常時両方の地元コミュニティの場として、今後も活躍していただけることを望んでいます。

■お知らせ  
「道の駅への期待」は第2ステージに入った道の駅に対し、「わが社は道の駅でこんな事業を展開したい」「道の駅をこんな風に使ってほしい」などのアピールを、主に企業や各種団体などに提案してもらうコーナーです。その会社などを代表して、「個人」の考えをベースに持論を展開してもらいます。掲載希望の会社や団体は、本紙編集部 (info@route-press1st.jp) までご連絡ください。